

株式会社渡辺教具製作所 取締役会長 渡辺美和子さんに聞く

聞き手 山岡三子さん ●フリーアナウンサー・名古屋短期大学客員教授



わたなべ・みわこ
跡見学園女子大学文学部
卒。企業勤務等ののち結
婚退社。1995年に代
表取締役社長に就任。日
本でも数少ない、地球儀
製造メーカーの4代目社
長、後に会長として、教
材という枠にとらわれな
いユニークな地球儀の
数々を世に送り出してき
た。大学やJAXAの研
究者とも、常に情報交換
を欠かさない。

**本社に併設されたミニ博物館には
宇宙飛行士のサインも**

山岡 本日は、株式会社渡辺教具製作所の渡辺美和子さんにお話をうかがいます。渡辺教具製作所は、1937年に東京・築地で地球儀製作の個人商店として創業し、現在も地球儀や星座早見盤を専門に製作・販売なさっています。

先日、埼玉県草加市の本社に併設されているミニ博物館「地球&宇宙」へ見学に行つてまいりました。会長自らご説明いただいで、驚きました。

渡辺 ミニ博物館は、草加市と草加商工会議所の「うるおい工房事業」の認定を受けています。草加市には製造業が多数ありますが、都心に通勤なさっている一般の方の住宅も多く、工場と住宅が混在しています。そこで、住民の方が安心して暮らせるよう、環境に配慮して、地域から愛着を持たれるような活動をしている事業所を認定する制度を設けており、そのサポートをいただいでミニ博物館を続けてきました。

山岡 地元の小学校へ出前授業もなさって

いるとか。

渡辺 はい。最近では、プラネタリウムを持つていつて天文の授業をするところが増えました。また、夏休みにはミニ博物館で体験学習会も開いていて、好評をいただいております。

山岡 ミニ博物館には、宇宙飛行士の若田光一さんの写真が展示してあって、サインまで入っていました。

渡辺 若田さんがISS（国際宇宙ステーション）の中で食べたおせんべいが、実は草加せんべいだったという縁から、草加の方々が講演会をお願いしたところ、子どもたちのための講演会を開いてくださるようになったのです。

その会場のロビーに当社の製品を展示するよう依頼をいただき、ここぞとばかりにたくさん飾ったところ、若田さんから「こんなにいいものを作っているところはあまりないで、頑張ってください」と励ましていただきました。そのときは特に、「夜の地球儀」をご覧になって、「本当に、宇宙から見たそのままの姿です」と感慨深げの様子でした。

山岡 5人の宇宙飛行士のサインもございました。

渡辺 ISSに約5カ月間滞在なさった野口聡一さんの「子ども向け天文教室」に、5人の宇宙飛行士がおいでになっていらっしゃいました。当社の製品を貸し出していて、たまたまサインしていただくことができましたのです。

奥の深い地球儀の世界、世界的なつながりや広がりも表現

山岡 あのミニ博物館はとて面白い試みだと思います。古い地球儀やプラネタリウム、鉱物の標本まで展示してあって。加山雄三さんも取材でいらっしやったそうですね。

渡辺 加山さんはヨットの操縦もなさるので、海図にとてもご興味がおありでした。また、富士山が立体になっている立体地



図をご覧になって、子どもの頃に父上の上原謙さんからお聞きになった戦時中のお話をしてくださいました。

夜、米軍のB-29の大編隊が富士山を目指して飛来し、そこから右旋回して東京のほうへいくのを目の当たりにして、「日本は戦争に負けるな」と小さかった加山さんに話しかけられたそうです。

山岡 ミニ博物館は、その米軍が製作した立体地図も所蔵していらっしやるとか。

渡辺 それが、ミニ博物館の一番の文化財といわれています。そのほかの活動としては、会社と同じ草加市内にある獨協大学からの呼びかけで、昨年、市役所主催の「子ども大学そうか」が開講されました、私も小学校5、6年生向けの授業を行いました。好評をいただき、今年も開催することになりました。今年は地球儀の歴史について、お話をしようかと考えています。

山岡 地球儀のお話だけでも、1時間や1時間半はすぐ経ってしまいますね。

渡辺 ええ、地球儀の世界は、なかなか深いですよ。私も、当初は家業を継ぐという意識で社長になりましたが、次第に地球儀

渡辺美和子さん



の世界に魅せられていって。実は、明日からウィーンの地球儀博物館 (Globenmuseum) へ行くんです。

山岡 地球儀博物館という施設があるので、すか。

渡辺 地球儀関連のコレクションが世界で一番多いのがあったので、向こうの方にコンタクトを取りました。地球儀って、ぐるっと回してみても、はじめて全体がわかるじゃないですか。じっくり見てまわるために、3日間ほど滞在する予定です。

山岡 なるほど、そうなんです。例えば、今日お持ちいただいたこの地球儀は、どういうものでしょうか。

渡辺 これは「コロナ」という名称で、大

きいものは直径が26センチあります。洗剤された白黒のデザインで、宇宙から見た詳細な島影や海岸線を表現しています。

台座は、デザイナーの佐藤オオキさんが代表を務める nendo という会社に依頼しました。佐藤さんは、作品が MOMA (ニューヨーク近代美術館) にコレクションされたり、先日のミラノ万博では日本のパビリオンをデザインなさいました。私がお願いしたのは、佐藤さんが世界的に有名ななるちよっと前でしたので、お引き受けいただくことができました(笑)。

山岡 ミニ博物館で大きいほうを拝見して、地球にはこれほどたくさんの島があるのかと、非常に感動しました。

渡辺 普通の地球儀は地名や国名などを表記するので、地形をここまで細かく表せないのです。

山岡 都市名はありますが、国境や領海は表示されていないですね。

渡辺 最近国境が変わったりしますので、そのほうが長くお使いいただけます。また、世界的なつながりや広がりを表現したかったということもあります。

地球温暖化や歴史的転換点も地球儀に表現すれば一目瞭然

山岡 ミニ博物館には、傘式地球儀も展示してありますね。

渡辺 神戸市立博物館は古地図のコレクションがすごいのですが、収蔵品の中に、江戸時代の天文学者である沼尻墨僊が製作した傘式地球儀があります。傘を開くようにすると丸い地球儀になるのですが、来館した子どもたちがさわっても大丈夫なレブリカの製作を依頼されて作ったものです。

山岡 地球温暖化の地球儀、あれを見た時はショックを受けました。

渡辺 温暖化の進み具合が一目で分かる「地球温暖化予想地球儀」ですね。東京大学気候システム研究センター(現・東京大学大気海洋研究所気候システム研究系)など四つの機関からデータ提供を受けて完成しました。温暖化が進むと予想される部分が白くなっています。

この予想がだんだんと現実になっている部分があり、北極の水やヒマラヤ山頂の雪がだいぶ解けたといったニュースを聞いた

びにやはりそうなのかと思います。

山岡 カナダなどは白い地域が多くて、意外でした。

渡辺 そうなんです。ニュースではあまり取り上げられていないけれど、実はとても進んでいるのかもしれないですね。ロシアでもタイガの永久凍土が解けて、地表に穴が空いたり、といったことは聞いていますね。

山岡 それに比べると、日本は思ったよりも影響が少ないような印象を受けました。

渡辺 やはり、国土面積に占める森林の割合が高いからでしょうね。

山岡 ロシアのバルチック艦隊の地球儀はどういう経緯で製作されたのですか。

渡辺 愛媛県松山市に、司馬遼太郎の作品にちなんだ「坂の上の雲ミュージアム」が2007年4月に開館しました。その際、バルチック艦隊の航路入り地球儀を作りたいというお話が当社に来ました。

そこで、詳しく研究なさっている方から資料をいただいで製作したところ、驚きましたね。大艦隊が日本に向かって地球の裏側から来たということが、この地球儀を見ればよく分かるのです。

日本に向かってというか、ウラジオストクに拠点をつくるために、北欧のバルト海からはるばるアフリカ南端の喜望峰を回ってきた艦隊や、スエズ運河を通ってきた艦隊などが日本の近くで大集結した、その怖さを地球儀を見て感じました。

本願寺のすすめで、地球儀製作の 個人商店を東京・築地に創業

山岡 地球儀ってこんなにいろいろな種類があるのかと、本当に驚いたり感心したりしました。

渡辺 1937年に、創業者の渡辺雲晴が浄土真宗築地本願寺のすすめもあって、地球儀製作の個人商店を始めました。戦後は理科教育振興に関わる星座早見盤、天球儀、地球儀、学校教室用天体投影機などを次々に開発しました。

その基本の次は、やはり人工衛星から見た地球の姿。天球儀や月球儀を製作している会社としては、早くそれを作らなくてはということ、製品の幅が広がっていきました。

山岡 いまおっしゃった人工衛星からとい

うのは、「夜の地球儀」ですね。

渡辺 それと、「ラ・メール」ですね。この「ラ・メール」という地球儀では、海洋底の部分が人工衛星のデータを使って、山あり谷ありといった様子がよりリアルに表現されています。それから、砂漠地帯と緑の森林地帯が分けて表示されています。

人工衛星の画像では、砂漠の砂がベージュのところはベージュに、赤っぽいところはちゃんと赤っぽく見えるんですよ。また、平面の地図と違って、地球儀なら面積も正しく表されているし、地点間の距離や正しい方角も分かります。

山岡 平面の地図だと日本を中心に考えてしまいますが、地球儀を見るとどの地域も



山岡三子さん

本当に平等に見ることができませんね。

渡辺 まさにその通りですね。また、地球儀を見てみると大陸移動の跡なども分かりますよ。

学生時代に学んだディキンソンの詩が いまになって役立つている

山岡 ミニ博物館には地球儀だけでなく、鉱物の標本も展示されていました。

渡辺 地球儀の監修をお願いした先生に地学教育学会でお目にかかったら、「博物館があるのなら、私のコレクションを差し上げましょう」とおっしゃってください。収蔵スペースが少ないため、しっかりと展示をしています。初めて鉱物をご覧になる方も目を留めてください。

山岡 お話をうかがっていると、いろいろな方が寄贈してくださったり、ご縁がつかったりしてミニ博物館が成り立っているという感じがいたします。

渡辺 本当にそうですね。創業者は広島のお寺を継いで僧侶にならなくてはいけなかったのですが、東京に出てきて築地本願寺の近くに住み、本願寺の月報を編集して

いたと聞きました。それが、地球儀の製作をすすめられて、よく始めたと思います。

山岡 本願寺の方は、なぜ地球儀の製作をすすめたのでしょうか。

渡辺 戦前は、全国の地図は国防上の重要情報でしたから、なかなか手に入らなかったようです。当時、本願寺の中で開いていた地球儀研究会という集まりの写真が残っており、関係があったのではないかと想像しています。

また、星座早見盤をいち早く作りました。また、本願寺のそばに当社があり、さらに海寄りのほうには水路部（元・海軍水路部、現在の海上保安庁海洋情報部）などがあったそうです。安全な航海には星の観測が必須なので、水路部の専門の先生方に、いろいろご教示いただいたようです。

山岡 そうやって初代の方がお始めになって。でも、人脈だけでは続きませんよね。
渡辺 そうですね。それでも初代の志は継いでいかなくてはと思います。

私は、3代目社長の夫が亡くなって代表者になったわけですが、それを次につなげていくのが役目だと思っています。ですから、

ら、4代目とはいわず、「3代目ダツシユ」と自称しています。その割には、いろいろやり過ぎていかなと思ったりもしますが。

山岡 それまでは専業主婦だったのに、青天の霹靂といえますか、突然、会社経営の重責を担わなくてはならなくなりました。

渡辺 子育てのまっ最中でしたが、子どもたちは比較的自立していたようにも思います。

私は自宅で小さな英語教室を開いています。その関係から、長男と次男は中学2年生の時に米国へホームステイに行ったことがあります。そうした経験もあって、自分の家庭を少しは客観的に外から見たいのかもしれません。兄弟が仲良くしていたので、何とかなるだろうという感じはありました。

山岡 ご自宅で英語を教えていらしたとのことですが、渡辺さんは跡見学園女子大学の文学部英文学科を卒業されています。

渡辺 最初から英語が得意というわけではありませんでした。当時は英文学科ができたばかりで、興味があつて勉強し始めると、先生方がとても協力してくださいました。

そこで米国の詩人であるエミリー・ディキンソンの詩に出会ったのです。ディキン

ソンの詩はとても短くて、「日本の俳句のようだ」という米国の研究者もいるくらいです。

英語の先生でお坊さんの方がいらっしゃったのですが、卒論はディキンソンにしたいとお話ししたら、「彼女はとてもいい詩人だから、それになさいませ。分からないところがあつたら、お寺にいらつしやい」と言ってくださいました。それからは、何度もお寺にうかがいました。

山岡 お寺で英語を教えていただくというのは、ちょっと不思議な感じですね。

渡辺 面白いですね。当時は研究書も少なくて学ぶのが大変でしたが、いまでは、初対面の欧米の方と会話をしている「エミリー・ディキンソンをご存じですか」と聞くと、ほとんどの方が知っているとおっしゃるようになりました。教科書に載っていたから、読んだことがあると。詩の一節を口ずさむ人もいます。

山岡 それは、コミュニケーションにとっても役立つと思いますね。

渡辺 ですから、お寺で英語を教えてくださいましたお坊さんの先生に感謝しています。

宇宙を知りたい、という人間の根源的な欲求に応える

山岡 今日はすてきなお着物をお召しですが、茶道の師範の資格もお持ちとが。

渡辺 高校生の頃に始めて、ほそほそと続けてきました。母が残した茶道具があつて、これを生かせるのは私しかいないと。日常生活や接客にも生かせます。

山岡 今の茶道のお話もそうですが、ミニ博物館でも、昔ながらの天球儀を展示されていて、歴史のつながりといったものを守つていらつしやるように感じました。

渡辺 確かにそうですね。地球儀を作つていく上で、それは大事にしていきたい。単に売れるから作るというのではなく、筋を通したいですね。

人間の根源的な欲求として、宇宙を知りたい、宇宙の中で地球がどんな存在なのかを知りたいとみんなが思っているでしょう。

それに対して見応えのあるものをご提供すれば、社会貢献にもなると思います。

山岡 歴史あるものを尊ぶといえますか、そういうポリシーがご自分の中にあるとお

考えでしょうか。

渡辺 おそらく、そうですね。「歴女」と呼ばれることがあります。10年くらい続けて、跡見学園女子大学の新入生にお話しをしたことがあります。創始者の跡見花隠と茶道についてもお伝えしました。

山岡 どういったことをお話しになったのでしょうか。

渡辺 花隠は、女子教育の中にいち早く茶道を取り入れましたが、それは堅苦しいものではなく、四季の移り変わりを楽しみ、道具や絵を楽しみ、それで礼儀作法が身に付くことが大事だという考えでした。

当時の明治政府は「西洋に追いつけ、追い越せ」で、教育内容にもそういったものを盛り込むような時勢の中、彼女はあえて学校教育に茶道を取り入れた最初の人ということになります。花隠のような目で物事を見るといろいろなことが楽しく思えてきます。

山岡 新しい情報も常にアップデートしなくてはいけませんが、それに振り回されてしまつてはだめだということを、渡辺さんが以前、おっしゃっていましたが、そうい

う考え方が根本におありなのですね。

渡辺 はい。さらに、跡見花蹊とエミリー・ディキンソンは、国は違っても同時代を生きた女性で、それぞれがある意味で大きなものに立ち向かう気概を持っていました。それを確認できてよかったです。

花蹊の生涯を綴った本にも「勇気の人、健闘の人である」とありますので、跡見学園女子大学の新入生には、そういった姿勢を失わないようにというお話もしました。

山岡 歴史上の出来事を教科書で読んでも、他人事のように感じがちですが、そうやって解きほぐしてお話しになると愛校心につながるし、自分の誇りとか自負心にもなっていくと思います。

キトラ古墳の天井画にある星の図を球状に再現



山岡 先ほど少しご紹介した獨協大学にも、人の背丈よりも大きい地球儀があって、実際に拝見したのですが、とても感動しました。

渡辺 東棟の竣工を記念して、同窓会が寄贈なさったものです。ちょうど学生課のところにあるので、たくさんの方が写真を撮ったり、この地球儀を使って授業もなさったとうかがっています。

山岡 この地球儀の製作依頼があった時に、条件があったそうですね。

渡辺 地球環境が専門の先生がご担当だったので、海上の国境線は入れないでくださいとのことでした。留学生が多くいらっしやるということも関係しているようです。

山岡 すてきですね。

渡辺 直径が170センチで、さらに台座もあるので、据え付け工事は大変でした。建物ができてから搬入しようとしたところ、大きすぎて入口から入れない。そこで、クレーンで吊って別のところからようやく搬入できました。

山岡 いまお話をうかがっている芝パークホテルのレセプション棟のロビー中央にも、

直径140センチの地球儀が設置されています。これには国境もないですね。

渡辺 国境線を引かないというのは、ホテル側のご希望でした。この地球儀の名前は「ONE WORLD」。富士山をイメージした台座に据えられていて、世界中からおいになつたお客様が行き交うロビーで、平和な時間を過ごしていただきたいという思いが込められています。

山岡 お客様を大切にするホテルの姿勢が伝わってくるようです。しかし、ホテルに地球儀って、珍しいのではないのでしょうか。

渡辺 海外に行っても、自由に触って回せる地球儀がロビーに置いてあるところはないと思います。日本ならではの「おもてなしの心」を感じます。

この地球儀は回すことができるのですが、あまり軽く回るようだと、お子さんがくるくる回しすぎてしまったり、指を挟む可能性もあります。そのため、地図を見ながらゆっくりと回せるような適度な手応えに調整しています。



渡辺美和子さん(右)と山岡三子さん
(2016年9月29日 芝パークホテル本館にて)

渡辺 ホテルの従業員の方も、お客様が興味を持って見てくださるので嬉しいとおっしゃってくださいます。これは私にとつて最高に嬉しいことです。

山岡 いまお作りになっている地球儀には、どのようなものがございますか。

渡辺 キトラ古墳の中に星の図があつて、東アジアで最も古いものですが、もしかすると世界でも一番古いかもしれないといわれています。オリオン座やさそり座が、ちゃ

んと分かるのです。それが天井画としてあるので、球体に再現できないかというお話をいただいたので、ぜひやらせてください。資料をたくさん集めて、勉強をしているところです。

山岡 地球儀づくりは楽しいけれど、いつも勉強しなければいけないわけですね。

渡辺 復元させていただくのに何も知らないのでは、失礼になると思うのです。

例えば、15年くらい前につくった火星儀をリニューアルする時には、この間に火星探査機がたくさん飛んだために、かなり詳細な様子が分かってきました。その新しい地名の日本語訳について、監修の先生にうかがったところ、また資料をどっさりいただいて。火星は地球にいちばん近い惑星なので、それが地球の過去の姿なのか未来の姿なのかは分かりませんが、何かのヒントがつくったほうが、確かにいいものができると思います。

地球儀づくりは、地表の画像を球体にベタツと貼り付けるのではないということ、次の世代にも伝えたいですね。

地球儀を見ることによって、地球市民として考えるようになってほしい

山岡 渡辺教具製作所では「Learning through the Universe」というスローガンを掲げていらっしやいます。

渡辺 これは、私が考えたものを、亡くなった前社長が「会社のキャッチコピーに使おう」といつて箱などに印刷するようになったのです。

世界で4番目の大きさがあつたアラル海が、灌漑用の取水のためにほとんど干上がつて、小さくなつてしまつた今は、消えゆく湖といわれています。それは目に見える形の、人間による自然破壊です。

そういった遠いところで起きていることも、地球儀を見ることによって、地球市民として考えるようになってほしいと思います。

山岡 最後に、渡辺さんのこれからの夢といったものをおしえていただけますでしょうか。

渡辺 これまで一生懸命やってきましたし、次世代が育ちつつあるので、彼らがいいかたちで活躍できるように環境を作りたいというのが夢ということになりますね。